

## 施策マネジメントシート

基本施策名	2   9   情報の積極的な発信と共有・保護	施策統括課	市長室	氏名	吉田 徳史
政策名	9   自治体経営	主な関係課	情報管理課・情報政策担当		

### 1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等  ・市民 ・行政
--

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称		単位
ア	人口	人
イ	市民情報を使用する部課数	部課
ウ		
エ		



施策の目的  個人情報を適切に保護しながら、市政情報を含む様々な情報を効果的に市民等へ公開・提供・発信し、その情報が積極的に活用されるまちを目指します。
--

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)		単位
1	ア 入手したい市政情報が十分に公開されていると思う市民の割合	%
	イ オープンデータとして公開したファイルの数	件
2	ア 行政が個人情報の保護を的確に行っていると思う市民の割合	%
	イ	
3	ア	
	イ	
4	ア	
	イ	



### 2 第1次基本計画期間(平成28～令和5年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1	情報の発信と共有  市政情報を含む様々な情報を迅速かつ広範に市民等へ公開・提供・発信することにより、市民等による情報の積極的な活用を促進し、情報の共有化を通して市政への市民参加をさらに推進します。	多様なツール、メディアを積極的に活用して情報量を増やすとともに、市民のだれもがそれらの情報に容易にアクセスし、活用することができる環境を整備します。 シティプロモーションの視点から、市内だけでなく、市外へ向け積極的に市の政策・まちの魅力・国立ブランド等を発信していきます。 市や市民に影響のある情報を継続的・定期的に収集し、しっかりと分析を行うことで、効率的な広報活動につなげます。 Wi-Fiなどの都市情報基盤の整備を進めます。 行政情報のオープンデータ化を推進するとともに、その利活用を積極的にPRします。
2	個人情報の保護  市民の個人情報を適切に保護します。	先進技術の動向把握に努めつつ、ハード・ソフトの両面から、多面的なセキュリティ対策を推進します。 職員のセキュリティ意識の向上を図るための研修を充実させます。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

単位		数値区分	H27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	目標達成度			
対象指標	ア	人	見込み値 実績値	74,546 75,054	75,466 75,984							達成・未達成	前年度比較		
	イ	部課	見込み値 実績値	0 43	43 43	43									
	ウ		見込み値 実績値												
	エ		見込み値 実績値												
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値		21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	未達成	向上		
				目標値	24.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0			31.0	32.0
				実績値	24.5	20.0	20.8	21.2							
	基本計画における指標の説明又は出典元				第9回国立市市民意識調査より出典。年1%の増を目標としました。										
	展開方向2	イ	件	成り行き値		0	0	0	0	0	0	0	未達成	維持	
				目標値	1	1	1	2	3	4	5	6			7
				実績値	0	0	0	0							
	基本計画における指標の説明又は出典元				ホームページ上にオープンデータとして公開したファイルの数										
	展開方向3	ア	%	成り行き値		31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	未達成	向上	
				目標値	38.6	39.7	40.8	41.9	43.0	44.1	45.2	46.3			47.4
				実績値	28.9	31.1	31.4	32.3							
	基本計画における指標の説明又は出典元				第9回国立市市民意識調査より出典。年1.1%の増を目標としました。										
展開方向4	イ	件	成り行き値												
			目標値												
			実績値												
基本計画における指標の説明又は出典元															
展開方向5	ア	件	成り行き値												
			目標値												
			実績値												
基本計画における指標の説明又は出典元															
展開方向6	イ	件	成り行き値												
			目標値												
			実績値												
基本計画における指標の説明又は出典元															
施策コスト	事務事業数		本数		10	10	7								
	財源内訳	国庫支出金		千円											
		都道府県支出金		千円											
		地方債		千円											
		その他		千円		3,670	4,120	4,680							
		一般財源		千円		21,475	24,992	20,724							
	事業費計(A)		千円		25,145	29,112	25,404	0	0	0	0	0			
	人件費	延べ業務時間		時間		11,800	12,000	6,895							
		人件費計(B)		千円		56,495	57,495	34,475							
		トータルコスト(A)+(B)		千円		81,640	86,607	59,879	0	0	0	0	0		

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)
C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)
C:他自治体と比べてほぼ同水準である
背景として考えられること
平成25年5月1日からLINEによる情報発信を開始し、平成26年5月5日より市報カラー化を行った。また、平成28年7月1日より市ホームページのリニューアルを行った。
オープンデータの公開は、「官民データ活用推進基本法」の施行を受けて、各自治体で公開がますます進む状況にあるが、政府の構想である「自治体が抱えている地域課題の解決」につながる活用については、先進的な取り組みをしている自治体において有効なものが見えてきていない状況がある。
○個人情報保護については、市の的確に行っていないと思う理由として、「なんとなくイメージでそう思う」との回答が最も多くなっていることから、サイバー攻撃による個人情報流出等のセキュリティ事故の発生等、社会全般の状況に対する意識が反映されていると考えられる。

**5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載**

**(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?**

**〔市長室〕**  
 一般的な情報発信の方法として、スマートフォンの普及により、ツイッターやLINE、フェイスブックやインスタグラムといったSNS(ソーシャルネットワークサービス)が注目を集めている。

**〔情報管理課〕**  
 ・平成14年に国立市情報公開及び個人情報保護に関する条例を廃止し、国立市情報公開条例を制定(行政保有情報を広く市民に公開し、市民の市政参加を推進する目的)、平成17年に指定管理者の情報公開に関する規定を追加した。  
 ・個人情報保護に関しては、高度情報通信社会の進展により、個人情報の保護及び適正な取扱いの確保が一層重要となってきている。個人情報の保護に関する法律の制定により、民間業者が保有する個人情報の取扱いについても一定の義務を課されるなど、個人情報保護に対する意識が高まっている。  
 ・平成14年国立市情報公開及び個人情報保護に関する条例を廃止し、国立市個人情報保護条例を制定、平成17年及び平成24年に個人情報の一層の保護を図るため、罰則規定の強化等の一部改正を、平成27年に行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)の施行に伴い特定個人情報の保護に関する規定を整備するための一部改正を行った。  
 ・平成25年5月に番号法が制定され、平成28年1月から特定個人情報の利用が開始となり、平成29年7月から情報提供ネットワークシステムを利用した他の地方公共団体等との情報連携の試行運用を開始している。同年11月から本格運用がスタートした。  
 ・平成24年7月に決定された国の電子行政オープンデータ戦略、平成27年2月に公表された「地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン」に基づいた対応を求められている。  
 ・平成28年12月に、官民データの適正かつ効果的な活用の推進を図るため、「官民データ活用推進基本法」が制定され、地方公共団体については、官民データ活用の推進に関し、地域の経済的条件等に応じた施策の策定・実施が求められている。

**(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?**

市からの広報物(市報・くにたちの教育・市議会だより等)を合冊できないか。  
 平成29年第2回定例会市議会一般質問で、オープンデータの推進について要望があった。

**6 H30年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載**

**(1) 施策の取組状況**

H30年度の取組状況	R1年度の取組予定
<p>市報、ホームページ、メール配信、ツイッター、LINE等を活用し、市政に関する情報や市の魅力を市内外に向けて積極的に発信した。</p> <p>市ホームページのウェブアクセシビリティの向上を目指し、総務省のガイドラインに基づいたクオリティ調査を実施した。</p> <p>新聞やテレビなどにおいて市に関する情報を取り上げてもらえるよう、マスメディアとも良好な関係性を構築するよう心掛けた。</p> <p>全職員が個人情報に関する法令や情報セキュリティポリシーを遵守していくとともに、研修、外部監査等を実施し、情報セキュリティ対策の維持・向上に努めた。</p> <p>オープンデータについて、東京都のIT推進協議会オープンデータ検討部会に参画するなどして、各自自治体の状況や、オープンデータに関する情報の収集を行なった。</p>	<p>市報、ホームページ、メール配信、ツイッター、LINE等を活用し、市政に関する情報や市の魅力を市内外に向けて積極的に発信する。</p> <p>○市内外に国立市の魅力を効果的に発信するため、事業担当部署と連携し、戦略的な事業PRを実施する。</p> <p>くにたち新書の作成及びプロモーション動画の作成。</p> <p>市ホームページのウェブアクセシビリティの向上を目指し、総務省のガイドラインに基づいたクオリティ調査結果に基づく分析を行い、ホームページの修正等を行う。</p> <p>「東京都官民データ活用推進計画」を踏まえた検討を行っていく。まず、試行として、数値化された行政データの公開ができるものから開始していく。</p> <p>全職員が個人情報に関する法令や情報セキュリティポリシーを遵守していくとともに、研修、外部監査等を実施し、情報セキュリティ対策の維持・向上に努める。</p>

**(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載**

総合基本計画及びH30年度行政経営方針に照らして評価する

市報、ホームページ、メール配信、ツイッター、LINE等の広報媒体を活用し、ターゲットを設定し市の情報や魅力を市内外に向けて積極的に発信した。また、さらなる戦略的な情報発信を行うべく、市としてのシティプロモーションの考え方を整理する必要がある。記者会見などの情報発信手段の検討を行う。

オープンデータについては、子育てや観光の分野について試行公開を目指し、情報収集や関係部署への情報提供等を行ったが、公開には至っていない。早期公開を目指して、取組を推進していく必要がある。

**7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載**

**(1) R2年度の取組方針**

ホームページの内容を充実し、市の広報その他の情報発信等をより推進できるような仕組みを研究する。

ツイッター、LINE等のさらなる活用を図り、ターゲットを絞った情報発信の仕組みを構築する。

新たな情報発信手段の調査研究を行う。

各課で保有している数値化された行政データをオープンデータとして整理し、順次公開していく。

**(2) 中期的な取組方針**

市報等の紙媒体をさらに充実させ、市民の課題解決の手段となるような情報発信を行うと共に、社会における情報通信手段の発展に伴い、市報以外の情報発信の充実を図る。

ホームページについては、今後も主要な情報発信手段として、さらなる内容の充実を図る。

高齢者やしょうがいしゃなどだれもが利用できるものにするために、ホームページのアクセシビリティの向上を図る。

オープンデータの活用により、自治体が抱えている地域課題の解決に繋げていく。